

令和6年7月定例記者会見 市長原稿(要旨)

まずはじめに、「お仕事体験イベント「たつのこワクワクワーク」開催」に関する情報提供です。

今年も、子どもたち向け職業体験イベント「たつのこワクワクワーク」を「龍ヶ崎市SDGsパートナー」を中心に、15事業者のご協力のもと、開催します。

初開催から3年目を迎えるこの事業は、例年2月ごろに開催しておりましたが、今年度は初めて夏休み期間に開催時期を設定しました。

開催期間は、令和6年8月17日・土曜日から8月25日・日曜日までの9日間となっております。

この開催期間の変更は、子どもたちが、夏休みのひとときを本市で過ごし、さらには市内の企業の魅力を知ることで、夏休みの自主学習などの題材にさせていただけるのではないかと考え、準備してまいりました。

また、「たつのこワクワクワーク」は、例年応募者多数で抽選となる事業であり、今回も定員248名に対し、延べ約1,100名の申込みをいただきました。

そして、昨年度に引き続き、株式会社・新都市ライフホールディングス様のご協力により、市内の商業施設「サプラ」で利用できる商品券500円分を参加した子どもたちの仕事での対価として、準備させていただきました。

まちづくりのビジョンのひとつとして、「子どもの笑顔が続くまちを創る」を掲げている本市にとりましては、この事業の趣旨に共感していただき、一大イベントに成長した本イベントを支えていただいております、多くの事業者の皆さまに改めて感謝申し上げます。

そのような事業者の皆さまの各店舗で、子どもの笑顔が多く、生み出されるのではないかと、申込状況からも感じているところです。

そして、報道機関の皆さま向けには、イベント開催初日を取材対象日として、設定させていただきました。

対象となるお仕事は、例年人気である「消防士のお仕事」、今年度初めてご協力いただきました「バリスタのお仕事」の2つとなります。

日時と内容ですが、8月17日・土曜日・午前10時から龍ヶ崎消防署で「消防士になりきって人命救助にチャレンジ！消防士のお仕事」、午後1時から、とむとむ龍ヶ崎店で「おいしいコーヒーをいれてかっこいいバリスタ気分！カフェのお仕事」となっております。

報道機関の皆様におかれましては、普段の学校生活とは一味違う、お仕事に向き合う、子どもたちの真剣なまなざしを取材いただけますと幸いです。

次に、「市職員の名札の表記変更」に関するお知らせです

本市では、近年、社会的に問題となっているカスタマーハラスメント対策のひとつとして、市職員が着用している名札を、令和6年7月22日(月曜日)から変更します。

現在、職員が着用している名札は、顔写真が入り、フルネームを漢字で記している職員証を兼ねたものとなっております。

新たな名札は、会計年度任用職員を含む全職員が、名字のみをひらがなで記す名札に変更します。現在、本市には多くの外国籍の方にお住みいただいており、そのような方々にもわかりやすいよう、名字のローマ字表記も入れております。

さらに、誰でも読みやすいよう、視認性が高く、近年注目を集め、本市広報紙『りゅうほー』でも採用している、ユニバーサルデザインフォントで表記しているのも特徴のひとつです。

なお、本市職員は、窓口対応では市民に寄り添い、真摯に向き合い、丁寧に説明することを基本として日々、対応を行っております。

一方で日々の業務の中では、執拗な電話や来訪、理不尽な苦情など、カスタマーハラスメントと捉えられると思われる行為も見受けられ、本市職員にとってはそれらの対応が精神的負担となるケースがあるのも事実です。

本市のまちづくりの一端を担っている大切な職員をトラブルから守り、安心して職務に専念できるようにとの考えから、今回の変更となりますので、市民の皆さまや事業者の皆さまのご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、昭和 30 年代に発行された、本市広報紙の第 1 号から第 6 号までを探す『『広報龍ヶ崎』大捜索』に関する情報提供です。

市制施行翌年の昭和 30 年 7 月に初めて発行された、広報紙『広報龍ヶ崎』は 69 年の時を経て、現在は『りゅうほ一』の愛称の元、本日までに 934 号が発行され、多くの市民に愛されてきました。

しかしながら、昭和 30 年代に発行された、市広報紙第 2 号から第 6 号までが現存せず、また、貴重な第 1 号も中面がない状況となっております。

当時は、現在のような、市内全戸に配布する形ではなく、回覧などにより、1 部を各地域で回して読む形が主流であったといわれています。加えて、現代と異なる文書保管などの形態であったことから、これまで、見つからない状況が続いてきました。

現在、本市では、市制施行 70 周年記念の企画として、広報龍ヶ崎の歴史を紐解く企画記事を広報紙で計画していることから、「昭和 30 年代『広報龍ヶ崎』大捜索」と銘打ち、当時の紙面をお持ちの方がいないかを、改めて探す運びとなりました。

本市の歴史を紐解く、貴重な広報紙をお持ちの方がいらっしゃいましたら、龍ヶ崎市役所・秘書広聴課「りゅうほ一編集室」まで、情報をお寄せいただければと存じます。